

■ 評価実施機関

	実施期間	評価表回収率
保護者	H30.10～R1.9	82% (9人/11人)
スタッフ	H30.10～R1.9	

■ 評価結果のまとめ・改善目標・工夫している点

項目	評価結果のまとめ	満足度	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	広さは充分だと思うが、人数によっては狭く感じることもでてくるように思う。外階段のスロープがあるのはいい。	70%	天候の悪い日は外階段を使用せずに、内階段を活用しています。 個別の部屋はあるが、1フロアの見晴らしの良い中での個別空間を検討していく。
適切な支援の提供 関係機関や保護者との連携	放課後児童クラブや児童館、障害のない子どもと活動する機会に関して十分な満足を得ていない。	73%	時間にゆとりのある長期休暇などを活用し、地域の児童館等での交流を企画していきます。 活動内容について、「協同で行なう」「考える」ことに力をいれた活動を企画し実施していきます。
保護者への説明責任等	もう少し職員と保護者の話し合いがあつたらいいのではという意見をいただいています。	85%	タイムリーに連絡がとれるように通常の連絡においては、LINEを活用している。 状況や状態に応じて頻度の高い情報交換を行なっていく。
非常時の対応	非常時のマニュアルに関しては「わかりません」との意見をいただきました。	88%	消防関係、防犯関係の緊急時の非常体制行動要領は作成されており、避難訓練も定期的 に実施しております。緊急時の受渡しについてのマニュアル等を作成し、配布できるように検討 していきます。
満足度	活動プログラムを楽しみに参加しているという声をいただいています。	100%	今後は、小、中学生にはコミュニケーション能力を高める支援。 高校生は働く意識を高める支援を個別と集団でおこなえる環境整備に努めていきます。